

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成25年3月14日(2013.3.14)

【公表番号】特表2012-515650(P2012-515650A)

【公表日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-027

【出願番号】特願2011-548219(P2011-548219)

【国際特許分類】

B 0 5 B 7/02 (2006.01)

【F I】

B 0 5 B 7/02

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

液体スプレーガンプラットフォームであって、
銃身連結部を含むフレームと、
注入ポートを含み、前記フレーム内に含有される、空気供給多岐管と、
前記空気供給多岐管と流体連通し、前記フレームを通過して、前記空気供給多岐管の入口
端部から前記銃身連結部の出口端部に延在する、ファン制御空気経路と、
前記空気供給多岐管と流体連通し、前記フレームを通過して、前記空気供給多岐管の入口
端部から前記銃身連結部の出口端部に延在する、中心空気経路と、
を含み、前記ファン制御空気経路が、前記中心空気経路の体積より大きな体積を有する
、液体スプレーガンプラットフォーム。

【請求項 2】

銃身と、該銃身に付着されるエアキャップと、を含む、液体スプレーヘッドアセンブリ
であって、
前記銃身内の液体通路であって、入口端部から液体ノズル開口部に延在する、液体通路
と、

銃身入口から中心空気出口に延在する中心空気チャンバであって、前記中心空気出口が
、前記銃身の前記液体ノズル開口部を包囲する前記エアキャップ内のノズル開口の間に形
成され、前記中心空気チャンバが、前記エアキャップと前記銃身との間に位置するノズル
空洞と、前記銃身内に位置する銃身空洞と、前記銃身内に形成される複数の開口部であ
って、前記液体スプレーヘッドアセンブリの使用で、空気が、前記中心空気出口への送達
のために、前記開口部を通過して前記銃身空洞から前記ノズル空洞に入る、開口部と、を
含み、前記ノズル空洞、前記液体ノズル開口部、及び前記ノズル開口が、気圧を超える圧
力下で空気を前記液体ノズル開口部から流出する液体に対して向けて、前記液体ノズル
開口部を通過して延在する軸を中心に概して円錐形状のストリームに前記液体を形状化
しながら、前記液体を前記液体ノズル開口部から離れるように推進するよう、成形され
る、中心空気チャンバと、

前記銃身内に形成されるファン制御銃身経路の入口端部から前記液体ノズル開口部を
越えて突出するホーン上に位置する開口まで延在するファン制御空気チャンバであ
って、前記ホーン内の前記開口が、気圧を超える圧力下で前記ファン制御空気チャンバ
を貫流する

空気が、前記中心空気チャンバを貫流する空気によって形成される液体のストリームの反対側に対して流れるように、前記軸の反対側上に位置する、ファン制御空気チャンバと、

を更に含み、前記液体スプレーヘッドアセンブリの前記中心空気チャンバが、前記ファン制御空気チャンバの体積を超える体積を有する、液体スプレーヘッドアセンブリ。

【請求項 3】

液体スプレーガンブラットフォームであって、

銃身連結部を含むフレームと、

前記フレーム内に含有される空気供給多岐管であって、注入ポートを含む、空気供給多岐管と、

前記空気供給多岐管と流体連通し、前記フレームを通過して、前記空気供給多岐管の入口端部から前記銃身連結部の出口端部に延在する、ファン制御空気経路と、

前記空気供給多岐管と流体連通し、前記フレームを通過して、前記空気供給多岐管の入り口端部から前記銃身連結部の出口端部に延在する、中心空気経路と、

を含み、前記ファン制御空気経路が、前記中心空気経路の体積より大きな体積を有する、液体スプレーガンブラットフォームと、

銃身と、前記銃身に付着されるエアキャップと、を含み、前記液体スプレーガンブラットフォームの前記銃身連結部に付着する、スプレーヘッドアセンブリであって、

入口端部から液体ノズル開口部に延在する、前記銃身内の液体通路と、

銃身入口から中心空気出口に延在する中心空気チャンバであって、前記中心空気出口が、前記液体ノズル開口部を包囲する前記エアキャップ内のノズル開口の間に形成され、前記中心空気チャンバが、前記エアキャップと前記銃身との間に位置するノズル空洞と、前記銃身内に位置する銃身空洞と、前記銃身内に形成される複数の開口部であって、前記スプレーヘッドアセンブリの使用時、空気が、前記中心空気出口への送達のために、前記開口部を通過して前記銃身空洞から前記ノズル空洞に入る、開口部と、を含み、前記ノズル空洞、前記液体ノズル開口部、及び前記ノズル開口が、気圧を超える圧力下で空気を前記液体ノズル開口部から流出する液体に対して向けて、前記液体ノズル開口部を通過して延在する軸を中心に概して円錐形状のストリームに前記液体を形状化しながら、前記液体を、前記液体ノズル開口部から離れるように推進するよう、成形される、中心空気チャンバと、

前記銃身内に形成されるファン制御銃身経路の入口端部から前記液体ノズル開口部を越えて突出するホーン上に位置する開口に延在するファン制御空気チャンバであって、前記ホーン内の前記開口が、気圧を超える圧力下で前記ファン制御空気チャンバを貫流する空気が、前記中心空気チャンバを貫流する空気によって形成される液体のストリームの反対側に対して流れるように、前記軸の反対側上に位置する、ファン制御空気チャンバと、

を含み、前記スプレーヘッドアセンブリの前記中心空気チャンバが、前記ファン制御空気チャンバの体積を超える体積を有する、スプレーヘッドアセンブリと、を含む、液体スプレーガン。

【請求項 4】

前記スプレーヘッドアセンブリが、前記液体スプレーガンブラットフォーム内に提供される開口部と協働する突出部によって、前記液体スプレーガンブラットフォームの前記銃身連結部に動作可能に付着され、前記スプレーヘッドアセンブリの前記銃身が、

銃身フレームと、

前記銃身フレームに付着される封止要素と、

前記突出部を含む接続タブと、を含み、前記接続タブが、

前記銃身フレームの壁内に形成され、前記銃身フレームが、閉鎖した外辺部を画定する、連続する入口端部縁部を含む、開口と、

前記開口内に位置し、前記銃身フレームに接続される第 1 の端部と、自由端部と、前記第 1 の端部から前記自由端部に向かって延在する一対の側縁部と、を含む、レバー要素と、

を更に含み、前記封止要素が、前記接続タブの前記レバー要素の前記側縁部及び前記自

由端部の周囲の前記開口を閉鎖する、請求項 3 に記載の液体スプレーガン。